

歯学部附属歯科衛生専門学校  
令和5年度自己点検・評価及び学校関係者評価 報告書

1 目的

歯学部附属歯科衛生専門学校（以下「本校という」）において実施した自己点検・評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による評価を受けることにより、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることなどを目的とする。

2 基本方針

本校において、自己点検・評価を実施し、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月策定）を参照の上、数名の学外評価者による学校関係者評価を実施する。

① 自己点検・評価の実施

本校において、点検・評価項目を4項目設定した。

学校関係者評価実施前に、本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を作成した。

（A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない）

<点検・評価項目>

① 【重点目標】カリキュラム・ポリシーに基づき、専門課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
② 学生の募集活動が適正に行われ、定期的に点検・評価を実施しているか。
③ 学生の進路・就職支援は適切に行われているか。
④ 学生からの相談体制が整備されているか。

② 学校関係者評価の実施

- (1) 学外評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。
- (2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。

- (3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)にまとめるとともに、以下の4段階により評価した。  
(A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない)
- (4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」(様式1)にて評価結果(総評)を作成した。

### 3 学外評価者

#### ① 卒業生

成田 アヤ子(平成9年歯学部附属歯科衛生専門学校卒業生)

#### ② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

井上 球代(歯学部附属歯科衛生専門学校同窓会会長)

#### ③ 地域住民

船曳 光雄(船曳歯科医院院長)

### 4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和5年10月20日(金) 午前10時～午前10時30分

② 第2回 令和5年11月30日(木) 午前10時～午前11時

③ 第3回 令和5年12月22日(金) 午前10時～午前11時

### 5 評価結果(総評)

社会情勢の変化や令和4年度の歯科衛生士国家試験出題基準改訂に伴い、教育内容、教科名、授業時間数等を見直して学則変更することにより、より学生や教員にも分かりやすく、社会情勢に即した新カリキュラムに令和6年度改正した。しかし、しばらくは旧カリキュラムと新カリキュラムが混在することで混乱が生じないよう努めていただきたく、評価はBとした。また、志願者数を増やすために高校訪問及び高校主催の進路ガイダンスなどに積極的に参加して努力している。しかし、定員を満たすまでには至っていないため評価はこちらもBとした。

今年度初めて実施した歯学部同窓会と連携した就職説明会は、近年の受動的な学生にとっても良い機会となり、就職活動の大きな契機になり評価できるため、今後も続けていただきたい。

担任による定期的な面談や大学本部の学生支援センターによるカウンセリングなど、様々な学生に対応すべく手厚いサポート体制が整っていることはすばらしく評価したい。

以 上